

サルヴェ・バンド

Salve Band

2024年

4月20日 (土)

14:00開演 (13:30開場)

Salve Regina

サルヴェ・レジーナ c-moll (G.B.Pergolesi)

Cembalo Concerto

BWV1055 A-Dur (J.S.Bach)

チェンバロ協奏曲 第4番

Cantata

HWV144 "Filli adorata e cara" (G.F.Händel)

カンタータ「愛しいフィッリよ」

Trietto Terzo

TWV42:d1 d-moll (G.P.Telemann)

演奏模範集より、トリエツト 第3番

Suite Burlesque

TWV55:B8 B-Dur (G.P.Telemann)

組曲「ブルレスク」

第3回公演

大森福興教会

東京都大田区山王2-12-10

(JR大森駅徒歩5分)

Soprano 本宮廉子

Violin 柿沼かおり 小林美央

Viola 松浦友哉

Cello 高藤朋子

Contrabass 高藤ゆか

Cembalo 樽谷学

ご予約

入場料金 2,000円 全席自由

メール

salveb2020@gmail.com

氏名・電話番号・枚数を明記ください

予約フォーム

onl.tw/x6HJ7XS



Salve Band



Salve Band
公演情報

サルヴェ・バンドは、現代では演奏される機会が少なくなったサルヴェ・レジーナなどの教会音楽と、バッハの残したチェンバロ協奏曲を演奏するために結成されたグループです。

ペルゴレージのサルヴェ・レジーナは、代表作「Stabat Mater」と同じく晩年に作曲されたソプラノと弦楽のための作品。悲嘆の境地から聖母マリアに捧げる祈りの音楽が、緩急を交えて切々と奏でられます。

バッハの鍵盤楽器のための全7曲の協奏曲はいずれも別の独奏楽器用の作品を編曲したものです。今回演奏する第4番はオーボエ・ダモーレのための協奏曲が原曲となっています。

ヘンデルのカンタータ「愛しいフィッリよ」は、恋人から隔てられ涙に暮れる思いが様々な擬人法を用いて表現され、再び会うことが叶わなくともあなたを愛する心は変わらない、と歌います。

テレマンのトリエットは1731年出版の演奏模範集「3つのトリエットと3つのスケルツォ」に収められています。テレマン自身が書いた装飾譜例はこの時代の資料としても貴重です。

同じくテレマンによる組曲のタイトルとなっているBurlesqueは「悪ふざけ」「冗談」の意のイタリア語 burla から発し、有名な作品を風刺したり滑稽に描いたりする文学・戯曲・音楽のジャンル。即興演劇コメディ・デラルテの登場人物名がつけられた曲と舞曲メヌエツトが並んだ楽しい作品です。

🌿 Solist 🌿



本宮 廉子 Kiyoko MOTOMIYA (Soprano)

千葉県出身。日本大学芸術学部音楽学科卒業。同大学院修了。ヘンデル「メサイア」、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」、ハイドン「ネルソン・ミサ」、モーツァルト「ハ短調ミサ」「戴冠ミサ」、フォーレ「レクイエム」、プーランク「グロリア」等にソリストとして出演するほか、近代フランス歌曲、日本歌曲を中心に演奏活動を行う。2022年ソロリサイタルを開催。日本ヘンデル協会会員、セルクルYメンバー。

樽谷 学 Manabu KURETANI (Cembalo)

香川県高松市に生まれる。1999年東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。これまで作曲を大出孝祐、北村昭、尾高惇忠、広瀬量平、チェンバロを小島芳子、曾根麻矢子の各氏に師事。2005年第19回古楽コンクール山梨において第3位を受賞。チェンバロだけでなく、最近では、受難曲、カンタータ等の大規模声楽曲の通奏低音奏者として、オルガン演奏にも活動を広げている。



大森福興教会

JR 大森駅西口を出たら横断歩道を渡ります。
正面の階段をのぼり、道なりに歩いて行くと
左手に教会が見えてきます。
(これ以外の経路は時間がかかります)

